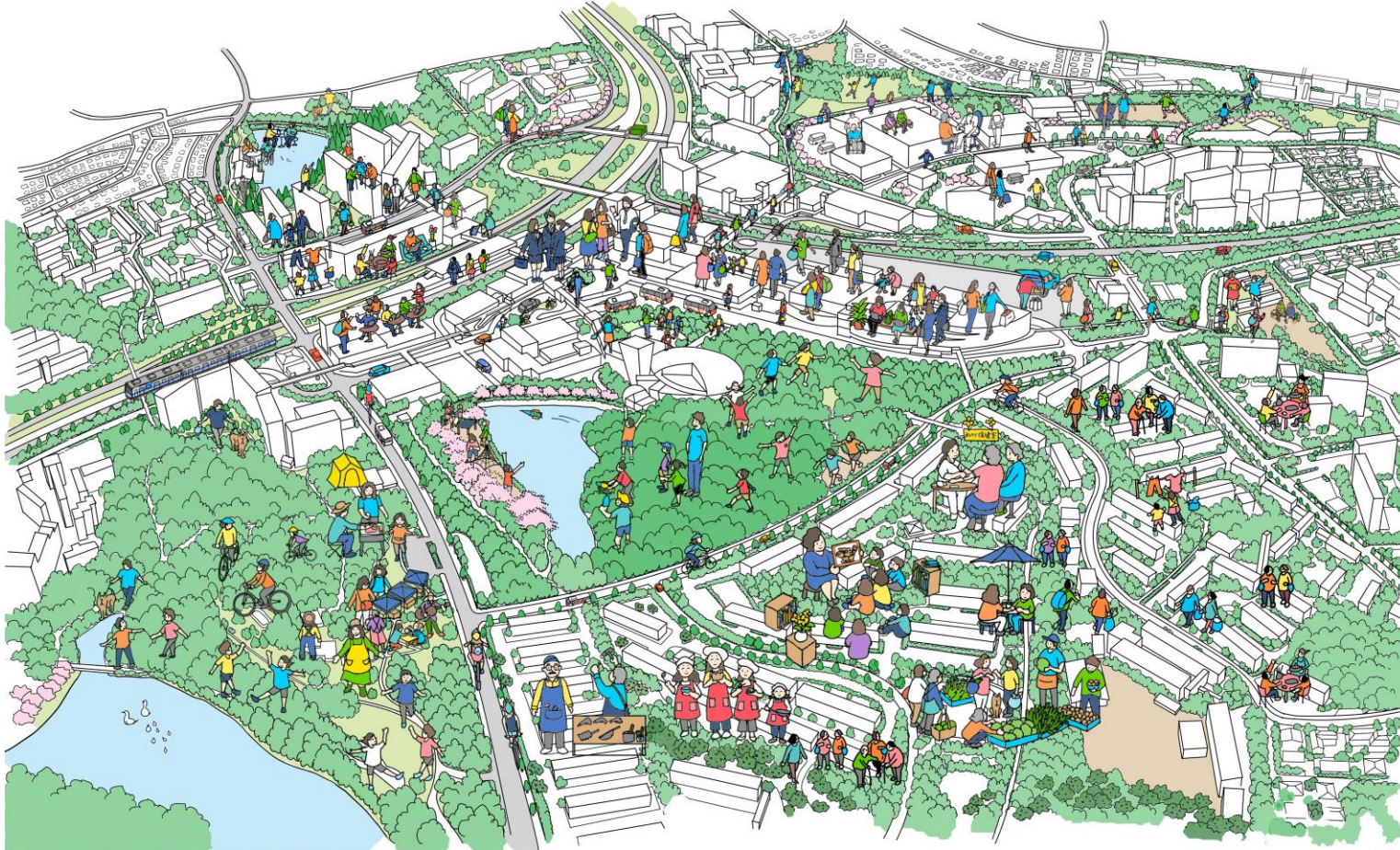




1-1. めざす将来像

未来の世代まで豊かに暮らしやすい泉ヶ丘 ～緑・商・住・医・学が揃い、人が躍動する駅前地域～

泉ヶ丘駅前地域は泉北ニュータウンの中心として、これまでの発展を牽引してきました。今後も新しい要素を取り入れながら変革し続け人々が活躍し躍動する場所であり、多様な機能と快適性を備えた未来の世代まで暮らしやすい駅前地域として進化します。



1-2. ビジョンの役割と取組期間

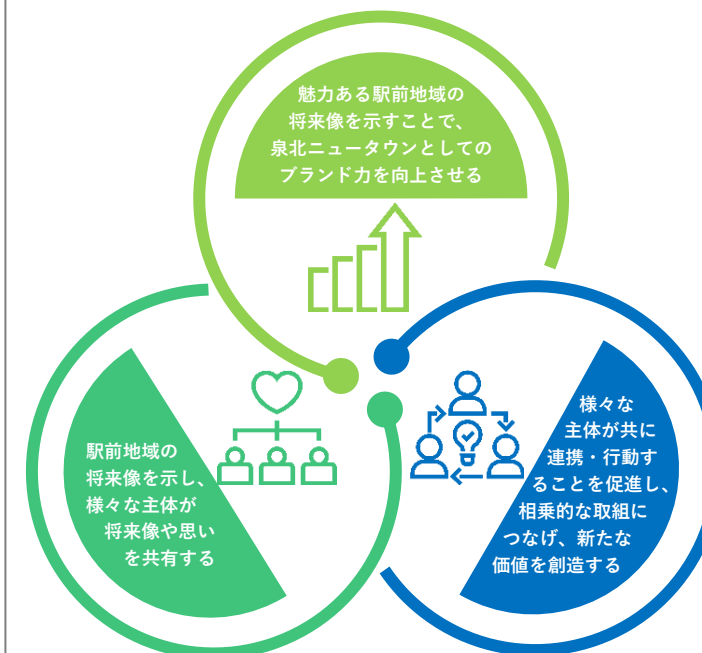
IZUMIGAOKA Next Designは地域住民や民間事業者、行政、公的団体、教育機関、NPO法人等の様々な主体が共有する将来像を明確にし、相互に連携して行動することで、泉北ニュータウンのブランド力を向上させ新たな価値の創造をめざします。

取組期間

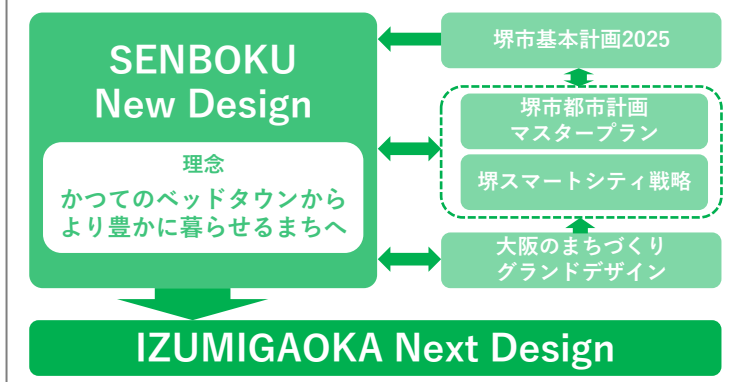
策定から概ね10年間
(令和7(2025)年～令和16(2034)年)

対象区域

地区センターの中心からの徒歩圏内(約800m)

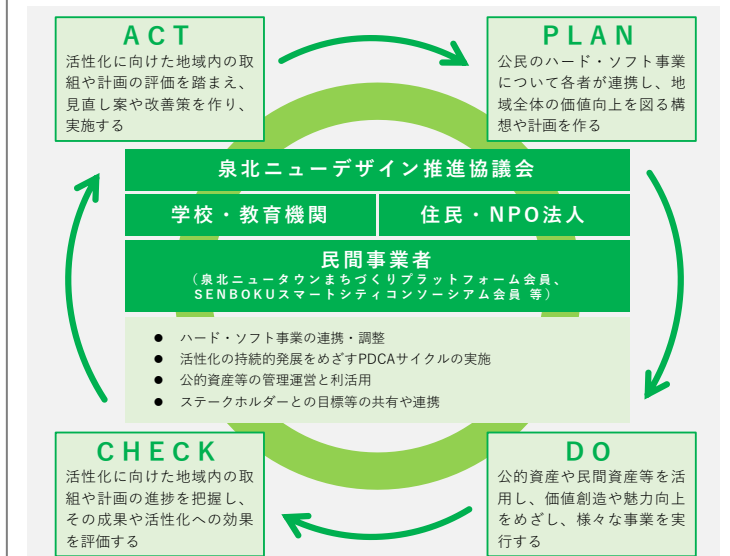


1-3. ビジョンの位置づけ



1-4. 推進体制

多様な公民連携手法を生かし、公共空間のダイナミックな活用を促進します。パートナーシップで取り組む事業は、関係者間の連携を密に図り、将来像や思いを共有しながら共創します。



2. 泉ヶ丘駅前地域の重点施策 新たな価値の創造

重点施策

- ① ダイナミックな土地利用転換の推進
- ② 若年層・子育て世代の誘引
- ③ 泉北ニュータウンとしてのブランド構築

横断的な先進要素

スマート
シティ



脱炭素



様々な主体による連携・共創

泉北ニューデザイン推進協議会(堺市・大阪府・UR・府公社・南海電鉄等)

教育機関

住民・市民活動団体

民間事業者(泉北ニュータウンまちづくりプラットフォーム、SENBOKUスマートシティコンソーシアム等)

- ・多様な公民連携手法を生かし、公共空間のダイナミックな活用を促進する。
- ・パートナーシップで取り組む事業は、関係者間の連携を密に図り、将来像や思いを共有しながら共創する。

ダイナミックな土地利用 転換の推進

泉ヶ丘駅前地域は、近畿大学医学部・大学病院の開設、駅前施設の更新、公的賃貸住宅の建替え等、50年に一度の大規模な土地利用転換の時期を迎えています。この機会を生かし、各施設間の連携強化やパブリックスペースの魅力向上、新たな機能の導入を通じてエリア全体の魅力を高めます。泉ヶ丘駅前地域がダイナミックに生まれ変わることで、新たに変貌する泉北ニュータウンの先導的な役割を果たします。また、駅前施設の更新に合わせてウォークラブルなネットワークを構築し、スマートモビリティの活用やバリアフリー化により地区内外の移動を円滑にし、回遊性の高い駅前地域を実現します。

若年層・子育て世代の 誘引

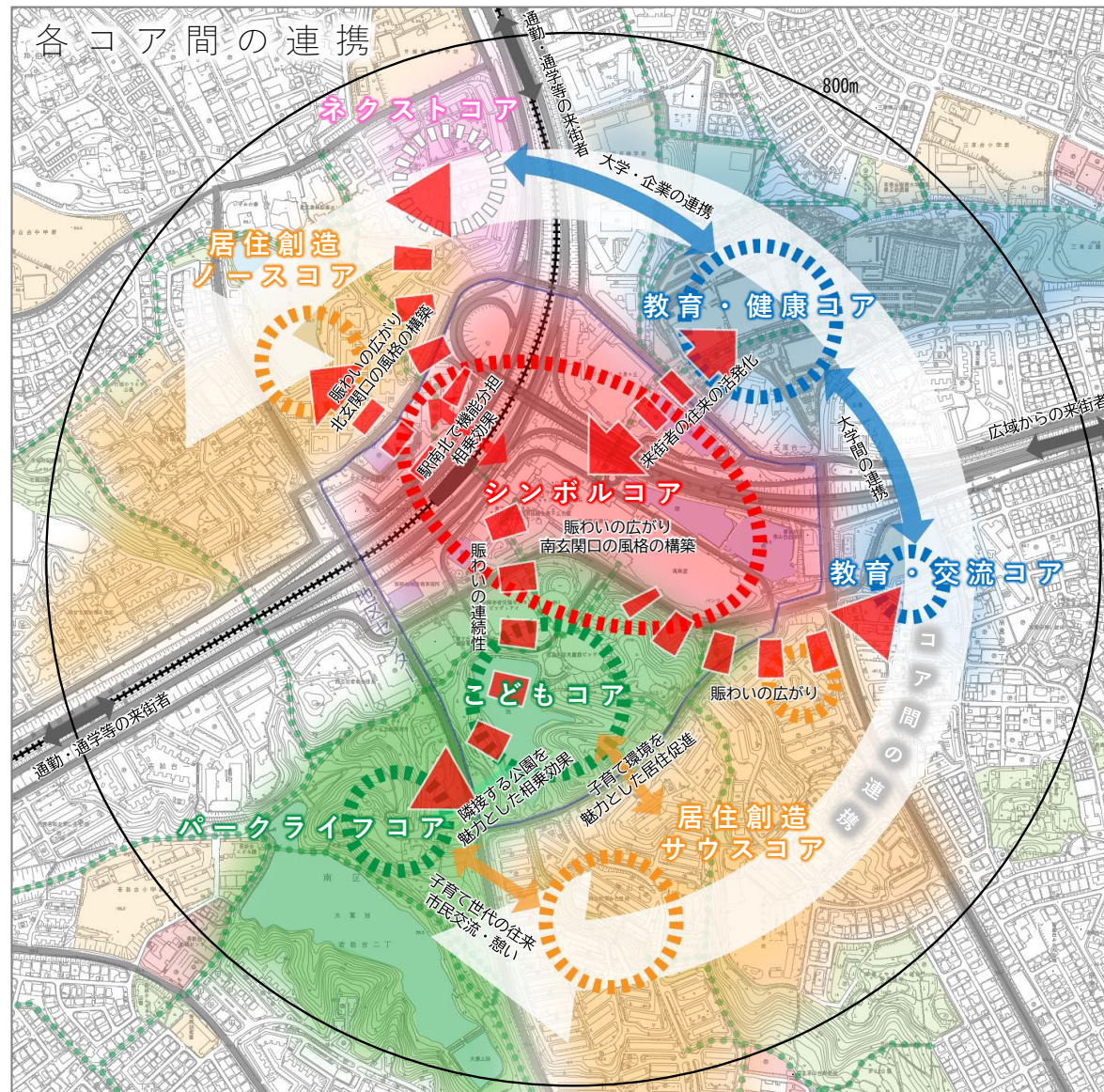
泉北ニュータウンが持続的に発展するためには、多様な世代が暮らすバランスの取れた年齢構成の実現が重要です。泉ヶ丘駅前地域は、自動車や鉄道、バスの交通利便性が高く、商業や文化等の多様な都市機能が充実しています。この地域のポテンシャルを最大限に生かし、子育てしやすい環境の整備やサービスの導入、若年層・子育て世代向けの駅前住宅の供給、住民のアクティビティを活性化させる場の創出を図ることで、若年層・子育て世代を誘引し、こどもから高齢者まで長く住み続けられる駅前地域を実現します。

泉北ニュータウンとしての ブランド構築

泉ヶ丘駅前地域は、住宅や教育機関、公園、児童施設、商業施設、文化施設等、多様な機能が集積した地域です。これらの施設が更新・活用されることで、広域的に人を惹きつける魅力を創出します。地域の資源を最大限かつ効果的に活用し、多様な暮らし方を実現できる泉北ニュータウンとしてのブランドを構築します。また、50年に一度のダイナミックな土地利用転換を好機と捉え、泉北ニュータウンの玄関口としての風格を兼ね備えた街並みを形成します。さらに泉北ニュータウンに対する市民や事業者の期待感を醸成し本地域のイメージアップやブランド力向上につなげます。

3. 機能導入・取組展開のイメージ

将来像の実現に向けて、新たな機能導入・価値創造の拠点となる「コア」を有機的につなぎます。泉ヶ丘駅を中心に周辺の商業施設、公園、住宅地等を結ぶことで、地域住民だけでなく、来訪者も快適に回遊できる魅力的な駅前空間をめざします。各コアの取組を充実し連携することで、駅前地域を活性化させ賑わいを創出します。



シンボルコア

泉北ニュータウンの中核かつ泉ヶ丘地区の玄関口として、駅前施設の更新を契機として風格のある駅前空間を創出する。施設更新にあわせて駅直結の居住機能や魅力的な商業機能・生活サービス機能、宿泊機能等の新たな機能導入を図る。また各コアを有機的につなぐハブの役割を果たし、泉北ニュータウン全体のシンボルとする。

駅前には泉北ニュータウン居住者だけでなく、高校や大学に通う学生、他地域からの来街者が集まり交流する場を創出する。また泉ヶ丘ライブタウン会議等、駅前の商業事業者等による多彩なアクティビティを活発化させ、人々と活動が一体となった空間を創出する。

泉ヶ丘駅北エリア



駅前施設の更新により、商業機能の維持・向上を促進させ、駅直結の居住機能の導入を図る。

エリア内での公民連携の取組を推進することで、駅改札レベルで各方面へ円滑に移動できる動線を確保し、ネクストコアや居住創造ノースコアに渡る人の流れの変化に対応する。また居住創造ノースコアと一体感が感じられ、賑わいと交流を促進できるような広場空間の創出や駅前交通広場の利便性を向上させる。

泉ヶ丘駅南エリア



商業機能に加えて新たな機能やサービスを集積させることで、泉北ニュータウンのシンボルとして「より豊かに暮らせるまち」を体現し、暮らしたいと感じられる駅前空間を創出する。

エリア内の公民連携の取組を推進することで、駅改札レベルとの円滑な上下移動ができる動線や2階レベルでシームレスな動線を確保し各コア間の回遊性を高める。またエリアマネジメントの推進により、イベント等の人々の活動の中心となり来街者が交流し賑わいや活気が感じられる広場空間を創出する。



駅に近接し、幹線道路や水辺、緑地に面した恵まれた環境を生かし、居住エリア内に新たな機能として生活に潤いを与える商業や交流機能の誘導を図る。新たな機能により創出された魅力により居住者だけでなく周辺住民や駅を往来する住民を取り込み、豊かな居住空間と賑わい空間の創出の両立を実現する。



リノベーションや既存ストックを活用した団地再生が進むUR及び府公社の住宅を中心に、新たな機能導入による施設の更新や団地の良さを生かした活動・交流を促進させることで、次世代の団地生活を創造する。